

生涯現役支援事業

委託事業者募集にかかる質問及び回答

2024 年 4 月 25 日版

	質問	回答
1	一般雇用の他に障害者雇用の相談があった場合は対応してよろしいか。	本課としては、委託事業者が対応出来るということであれば、断る理由はない。 委託事業者が(高齢者事業以外の案件のため)対応出来ないということであれば、相談自体を受付けることは出来ないと考えている。 その場合は、他の適切な相談窓口を紹介したい。
2	(障害者の)相談をうける委託事業者が適切かどうかという判断となるものは、例えば何か資格で判断するのか。	特にそういったものは求めている。 例えば元々は高齢者による相談に対して受ける事業であるため、ケースバイケースで判断されたい。その時に対応する講師が障害者の相談に対しても、適切なアドバイスが出来るので受けると委託事業者側が言えば、本課としては、それを疑うことはない。 委託事業者の判断になると考えている。
3	セミナー運営において、冬季の感染症流行時期などの消毒液設置などの対策は必要か。	現時点では必要ないと考えている。 但し、今後コロナのような感染力の強い感染症が発生し、何らかの法的な規制がかかった場合は対応をお願いすることもあると思っている。
4	出張相談に関して、相談者の「就職状況の調査」について実施、報告は必要か。	この事業の相談を利用して、就職に結びついたという事例を積み上げたいため、今回は実施するものと考えている。 但し、相談者の相談内容により、実施することが難しい場合もあると思われる。
5		